

流域治水推進事業

雨水貯留タンク「たびこスクールダム」贈呈式の実施について

近年、全国各地で記録的な台風や集中豪雨が相次いでおり、流域全体のあらゆる関係者が協働して、治水対策を行う「流域治水」の取り組みは、極めて重要であります。

このため、茨城県では、河川管理者が行う河川整備として、堤防整備や堆積土砂の撤去などの「流す」対策に加え、調節池などによる「貯める」対策の強化を進めているところです。

「貯める」対策については、ダムや調節池といった大規模な施設だけでなく、農業を営む耕作者に協力をいただく「田んぼダム」や、住居に設置する「雨水貯留タンク」などもあり、流域の皆様の協力により、雨が降った場所で少しでも水を貯めて、河川への流出を防ぐこととなり、河川の氾濫を抑えることに繋がります。

また、茨城県では、企業版ふるさと納税として流域治水推進事業への寄付をいただく制度を設けており、寄付金を活用し、流域治水のPRなども行っています。

今般、企業様からいただいた寄付金を活用し、流域治水の取り組みの一つである、雨水貯留タンクを「スクールダム」と命名したうえで、3つの小学校へ贈呈することといたしました。

今回贈呈する「スクールダム」については、一つ一つは少ししか雨を貯められませんが、わずかずつでもその取り組みが広がることで、大きな効果を生むこととなります。

小学生の皆様が、「スクールダム」の役割を理解していただき、「流域治水」を身近に感じることで、

「一人一人が、災害を自分事化して、何ができるかを考える！」

「いざ、という時に命を守る行動に繋げる！」

という考え方を持っていただけるよう、想い込めて贈呈するものです。

「流域治水」という言葉は、まだまだ、一般の皆様には広がっておりません。このため、少しでも多くの皆様の目に触れられるよう、報道機関の皆様には、是非、取材いただきたいので、よろしくお願ひします。

1 日 時	令和8年3月17日(火) 13時30分～14時30分(予定) ※報道機関受付:12時30分～13時15分
2 場 所	<イベント会場・設置箇所> ・ひたちなか市立田彦小学校 (茨城県ひたちなか市大字田彦 1457 番地) <その他_設置箇所> ・ひたちなか市立佐野小学校 (茨城県ひたちなか市大字稲田 76 番地) ・ひたちなか市立美乃浜学園 (茨城県ひたちなか市磯崎町 5135 番地)
3 内 容 (別紙参照)	(1) 県担当者から、小学校代表児童へ贈呈書の送付 (2) 「スクールダム」除幕式 & 活用(タンク内の水を出して、花壇へ水やり) (3) 県担当者による「流域治水とみんなの備え」の授業
4 イベントの公開	・本イベントについては、一般公開は行っておりません。 ・当日のイベント資料・写真等については、後日、県 HP で公表いたします。
<取材にあたっての注意事項> ・イベント会場は小学校敷地の一部で行います。当該会場以外の撮影はご遠慮ください。 ・手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。 ・イベントの円滑な進行のため、事務局の誘導、指示に従って下さい。	

【本件に関する問い合わせ先】

茨城県土木部河川課 技佐兼課長補佐(技術総括) 関根(せきね)

TEL: 029-301-4486(直通) FAX: 029-301-4499

<イベントイメージ>

(1) 小学校代表児童へ贈呈書の送付



(2) 「スクールダム」除幕式&活用 (タンク内の水を出して、花壇へ水やり)



(3) 「流域治水とみんなの備え」の授業



<スクールダム外観>

たびこそスクールダム

- ・大雨が降って川や水路に雨水がどんどん流れ込むと、溢れてしまうことがあります。
- ・このスクールダム(雨水タンク)は、屋根に降った雨をためることができます。
- ・ひとつひとつは小さいダムですが、みんなで協力すれば、たくさん水をためることができ、川や水路に流れ込む水を減らすことができます。

「流域治水」の取り組み



「流域治水」の3つの柱

「流域治水」には、水害からまちや人をまもるための3つの柱があるんだよ。

川の水をながす、雨水をためる



川をながす水や雨水をためることで、水害からまちや人をまもります。

みんなの生活をまもる



水害が起きたら、みんなの建物や生活を守ります。

まげまくにげる



災害に備え避難を想定し、まげまくにげる！



ながすんジャー



にげるんジャー

この施設は、ビクテ・ジャパン(株)からの企業版ふるさと納税により設置されました。

<授業用パンフレット>

5人目のヒーローに、君も参ろう!

4人のレンジャーと一緒に、水害からまちをまもろう!

流域治水とみんなの備え

